

WYROWSKI

# VirtualLab FUSION

FAST PHYSICAL OPTICS SOFTWARE

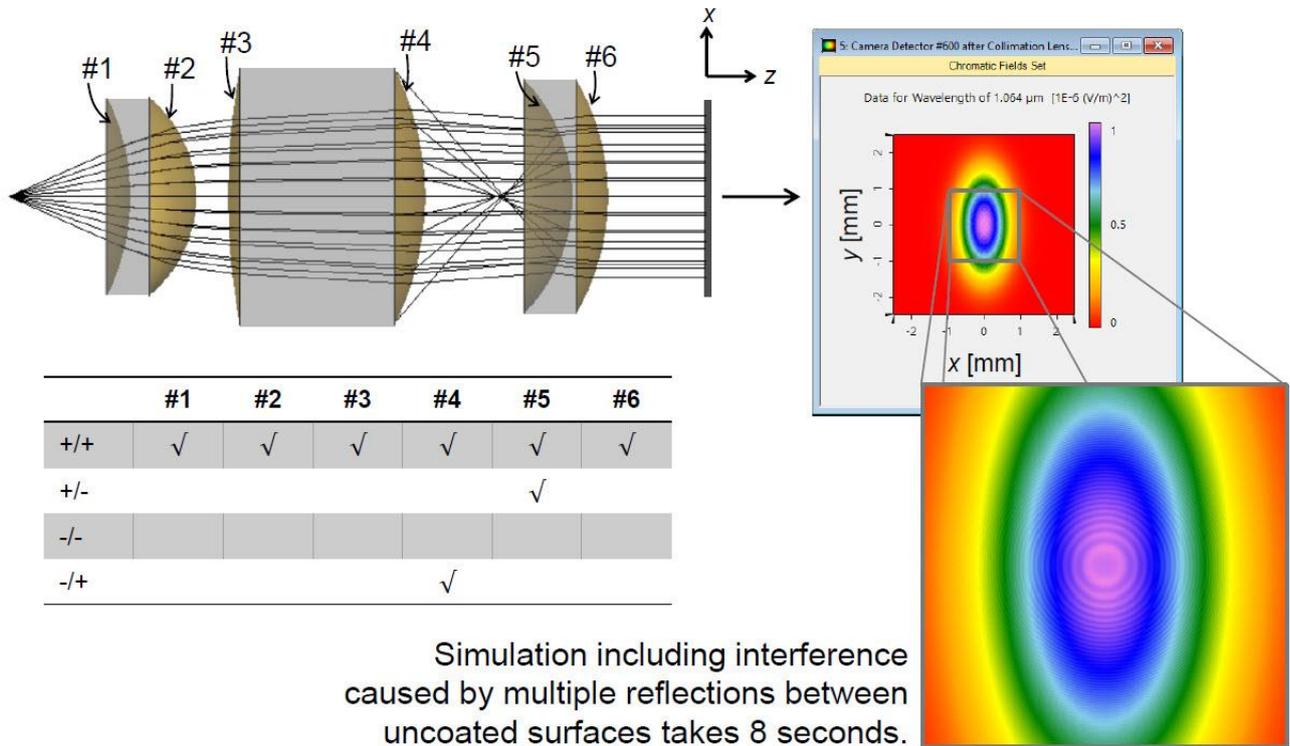
## コリメーション光学系における干渉縞のシミュレーション

光学設計において、望ましくない影響を適切に考慮することが大切です。例えば、コーティングされていない面からの反射によるゴースト像は、全ての光学装置において起こり得、そのシステム性能への影響を調べるべきです。最近リリースされたノンシーケンシャル拡張機能を用いて、VirtualLab では前述のゴースト像のような影響を便利に解析することができます。他の数値パラメータと同様に、個々の面の柔軟なチャンネル設定を使用して、取り掛かっている光学系のシミュレーションは、様々な状況の解析および様々な精度の程度に合わせて調整することができます

### コリメーション光学系におけるゴースト像の影響の検討

いずれの光学系にも、ゴースト像を引き起こす迷光が必ず存在します。迷光は、望ましくない反射および散乱などの様々な原因があります。高 NA レーザーダイオードのコリメーションレンズ系を例示します。VirtualLab のノンシーケンシャル追跡技術を用いて、コーティングされていない面間の反射を調べると、多重反射がコリメートされたビームに干渉縞を生じさせることがわかります。

[詳しくはこちら](#)

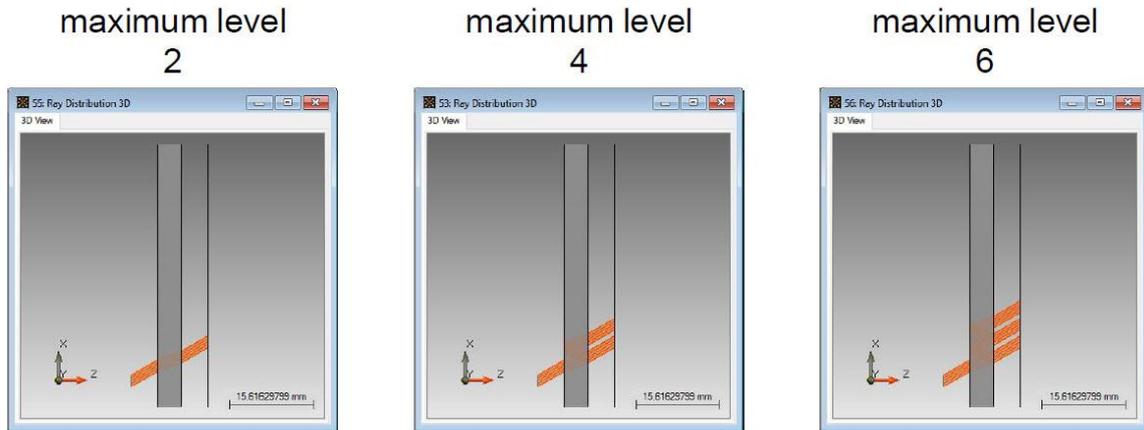


多重反射によるコリメーションビームの干渉縞

## ノンシーケンシャルの設定: 光線・フィールドトレーシングのシミュレーション設定の使い方

VirtualLab は、フィールドトレーシングだけでなく光線追跡の実行にも使用することができます。数値シミュレーションのコントロールは、通常、様々なパラメータの指定によって処理されます。VirtualLab において、これらはしばしば、accuracy factors の形態で現れます。この資料では、ノンシーケンシャル シミュレーションの設定に焦点を当てて、VirtualLab 内の光線追跡およびフィールドトレーシング エンジンをコントロールするために提供された accuracy factors の使用法を説明します。

[詳しくはこちら](#)



最高準位ノンシーケンシャル光線/フィールドトレーシング

☆無償トライアル版、トレーニングのお問い合わせは下記までお知らせください

## 株式会社プロリンクス

営業部 VirtualLab 担当

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町 17 番地 SIA 神田スクエア 3 階

Tel: 03-5256-2053 / Fax: 03-5256-2272

Email: [virtuallab@prolinx.co.jp](mailto:virtuallab@prolinx.co.jp)

URL: <https://www.prolinx.co.jp/virtuallab/>

